

取組時の課題と目的

1 取組時の課題

- 体力運動能力調査の結果から50m走や持久走の記録において、現3年生を除いて全国平均をやや下回っている。
- 全校生徒への意識調査では「体力に自信があるか」という質問に対して、「ふつう・ない」と回答した生徒が約80%以上と多く、運動に関する関心の低さや、体力向上に消極的な面がある。

2 取組の目的

- (1) 生徒の体力・意欲向上に向けた保健体育科の授業の充実
- (2) 体育的諸活動を通じた健康の保持増進のための実践力や運動に親しむ態度の育成
- (3) 体育指導コーディネーターを核とした小学校体育科授業の支援及び連携

取組の内容

1 生徒の体力・意欲向上に向けた保健体育科の授業の充実

- ・保健体育免許所有教員3名のチームティーチングによるきめ細かな指導体制の確立
- ・地域のスポーツ指導者をゲストティーチャーに迎えた専門的なアドバイスによる人的環境の整備
- ・授業開始時の5分間走の継続、効率的なマネジメントタイムや学習形態・学習方法の工夫による生徒の運動量の確保
- ・スモールステップの授業展開や場の設定、学習カードの工夫、ICT教材の活用等による個に応じた指導の充実

2 体育的諸活動を通じた健康の保持増進のための実践力や運動に親しむ態度の育成

- ・生徒会が中心となって取り組む体育祭の運営
- ・希望者や部活単位での参加による市駅伝競走大会に向けた継続的な早朝練習の実施
- ・他教科との連携や養護教諭とのチーム支援による健康への意識向上を図るための授業を実施
- ・市共同調理場の学校栄養職員とのチームティーチングによる食に関する指導の実施
- ・体力向上や健康の保持増進をテーマにした各種講演会の実施
- ・体育委員による運動習慣の確立を目指した体育館・校庭の開放の実施
- ・保健委員による生活習慣に関するアンケート調査や啓発活動の実施

3 体育指導コーディネーターを核とした小学校体育科授業の支援及び連携

- ・小学校6年担任と体育指導コーディネーターのチームティーチングによる体育授業の実施
- ・小学校体育専科教員と体育指導コーディネーターのチームティーチングによる体育授業の実施
- ・小学校低学年担任への「体育だより」の配布及び体育科授業の支援
- ・市水泳記録会及び市陸上記録会練習の指導及び支援
- ・小学校と連携した9年間を見通したカリキュラムの作成
- *管理職、教務、保健体育科教員、養護教諭からなる体力向上委員会を設置し、上記の取組について協議・調整等を行った。

取組の成果

- ・体力運動能力調査の記録の向上が見られた。A判定の生徒が増加し、D・E判定の生徒が減少傾向にあった。
- ・地域人材を活用した授業では、本時のねらいに沿って視点を絞った技能ポイントの指導をしてもらったり、示範を見せてもらったりすることで専門的な視点からきめ細かな指導を行うことができた。
- ・専門家を講師に招いた講習会後の部活動では、体幹トレーニングを取り入れるなど健康な体づくりへの意識が高まったことが伺える。
- ・生徒が主体的に取り組んだ体育祭では、生徒会種目に工夫を凝らしクラスが一丸となって取り組み盛り上がっていた。また、ソーラン節では保護者からアンコールをもらい生徒たちの努力の成果をたくさんの方に認めてもらえる素晴らしい機会となった。
- ・昨年小学6年時に小中連携でコーディネーターが指導した児童が、今年度入学してきた。指導者が生徒の実態をおさえている中で保健体育科の授業を進めることができ、生徒たちも安心して学習に取り組んでいる。中一ギャップの解消に大きな成果が見られた。

今後の課題

- ・個に応じた指導のさらなる工夫により、体力や運動技能の向上を目指し、意欲の向上を図る。
- ・小中9年間のカリキュラムに体育指導コーディネーターの役割を位置づける。

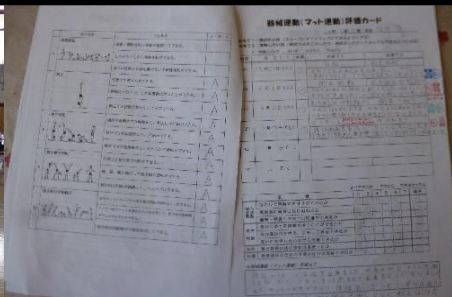
体力向上に向けた様々な取組

1 生徒の体力・意欲向上に向けた保健体育科の授業の充実

保健体育科授業における
5分間走の実施



図や絵を取り入れた
学習カードの工夫



ゲストティーチャーとの
チームティーチング授業



2 体育的諸活動を通じた健康の保持増進のための実践力や運動に親しむ態度の育成

部活ごとに参加した駅伝練習



担任と養護教諭による
歯科指導



担任と学校栄養職員による
学活時の食に関する指導



3 体育指導コーディネーターを核とした小学校体育科授業の支援及び連携

2校の低学年の先生方へ「体育だより」の発行

体育だより No.1
発行日：平成 28年 5月 23日
文責：井出昌文（朝来市立桜木中学校）

体育指導コーディネーター桜木中学校の井出昌文と申します。体育だよりとして、低学年の先生方に群馬大学、群馬県教育委員会健康体育課、総合教育センター、群馬県小学校体育研究会等が連携して作成した体育授業プログラムを紹介させていただきます。少しでも体育授業を進めていくためのお役に立てればと考えています。一年間どうぞ、よろしく申し上げます。

『鬼遊び』（ゲーム領域）

【目標及び内容（D技能）学習指導要領解説 P33
(ア) 一定の区域で逃げる、追いかける、陣地を取り合うなどの簡単な規則の鬼遊びをする。
(イ) 工夫した区域や用具で楽しく鬼遊びをする。

【ポイント】

- ・相手（鬼）にタッチされたり、自分のマーク（タグやフック）を取られたりしないように、逃げたり身をかわしたりすること。
- ・相手（鬼）のいない場所に移動したり、駆け込んだりすること。
- ・2、3人で連係して、相手（鬼）をかわしたり走り抜いたりすること。
- ・逃げる相手を追いかけてタッチしたり、マーク（タグやフック）を取ったりすること。

単元構想例（6時間）

授業時間	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目
導入	5分	集合・整列・あいさつ・準備運動・学習のめあて				
活動1	10分	オリエンテーション 授業のねずみ ※別紙1	ねこと ねずみ ※別紙1	・しっぽとり鬼・ねことねずみ (メインの活動に入る準備運動として)		

障害者アスリートによる講演会
講師：プーマジャパン所属 花岡伸和選手



傷害予防のための体幹トレーニング講習会
講師：高崎健康福祉大学 中川和昌准教授



2校の低学年の先生方へ、体育授業プログラムや文部科学省より紹介されている「まるわかりハンドブック」から抜粋した。単元計画や場の工夫などを「体育だより」として発行し、教材研究を支援している。別紙としてメインの活動を図で説明した解説なども作成し配布した。

主な成果

A判定の人数が増加し、D・E判定の生徒が減少した

